

YIA 会員だより 2017年7月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

ホームページURL <http://www.teu.or.jp/kamojima/yia/>



定例理事会

日時:7月31日(月)13:00~15:00

場所:文化研修センター

7月度 定例活動/他

◆英会話教室

ネイティブスピーカーとしゃべってみましょう!

☆鴨島教室 毎週木曜日19:00~21:00

初心者クラス 講師:ステイシーさん

中級者クラス 講師:ミシェルさん

文化研修センター2F.

お問合せ:後藤田さん(TEL 0883-24-5234)

☆山川教室 毎週火曜日19:00~21:00

初心者クラス19:00~19:30

山川公民館 講師:タマラさん

お問合せ:長井さん(TEL:090-1575-8634)

☆川島教室 毎週水曜日19:00~21:00

初心者クラス19:00~20:00

川島東公民館、講師:ジョンさん

お問合せ:井口さん(TEL0883-24-5365)

◆日本語教室

【村上教室】(TEL 0883-24-8018)

＜鴨島 文化研修センター＞

毎週日曜日 13:30~15:30(初級日本語講習)

講師:村上さん、萩森さん、白岡さん、

井口さん、市原さん

毎週金曜日 17:00~19:00 中級(N2レベル)

19:00~21:00(職業日本語講習)

【手塚教室】(TEL 0883-24-1284)

＜市場町コミュニティセンター＞

毎週日曜日 10:00~12:00

＜高川原公民館＞

毎週日曜日 13:30~15:30

講師:手塚さん

【6月の活動報告】

◆鴨島小学校での国際理解学習に参加 萩森健治

6月29日(木)に鴨島小学校で行われた国際理解学習に外国人講師の方々を引率して授業に参加しました。

学習の目的は、児童たちに、地域に住む外国人との交流を通して言語や文化の違いに興味を持たせ、積極的に交流してみたいという意欲を持たせることです。

講師は、徳島大学留学生でカナダ出身のアレクサンドラさん(女性)、ベトナムのヴァンさん(女性)、台湾のリンリンさん(女性)、スウェーデンのグスタフさん(男性)の4名です。

対象児童は、1年、2年、3年、5年の各65~75名で、指導は井後校長先生はじめ島田先生や担任の先生方です。YIAからは、浅野、井口、市原、後藤田、真鍋、萩森が参加しました。

外国人講師の皆さんは2班に分かれ、2校時、3校時の2時間それぞれ、出身国の位置、国旗、面積や人口、有名な観光地、食べ物、衣服、挨拶の言葉などをスライドショーで紹介しました。



アレクサンドラさん



ヴァンさん



リンリンさん



グスタフさん

児童から折り紙のプレゼント

児童たちは、日本の好きな食べ物、好きな動物、好きな色、アニメ、好きなスポーツなどについて日本語や覚えたての英語で質問し、講師は英語と日本語で回答していました。また、体育館での遊びでは、1年生の児童たちがグループごとに分かれて日本の昔の遊びを披露し、外国人講師も一緒に楽しみました。児童たちの目はキラキラ輝いており、講師に大変感激した様子で名残惜しそうに見つめていました。今日の異文化体験がしっかりと児童たちの記憶に残り、今後の国際理解に役立ててくれると思います。

新ALT歓迎会

日時: 8月24日(木曜日)19時~

場所:みつなり(鴨島町内原203-3)

参加費: 3000円

締め切り:8月17日

(申し込み後のキャンセルは前日までにお願いします)

筑木 090-7145-3831ショートメールでお願いします。

◆ ベトナム訪問記 No2 市原百合子

2008年から毎年ベトナムの地方都市イエンバイを訪問しています。ベトナムの少数民族の小学校および孤児院を支援するためです。ある大学生が自分の出身地イエンバイにある少数民族の小学校と孤児院に案内してくれたのがきっかけです。その大学生は一人の目も耳も不自由で話もできない小さな孤児の里親になっています。学生でありながらその意識の高さに感心し、支援を始めました。

孤児院には80人ほどの、望まれない子供、親を亡くした子どもなどが住んでいて、そこから学校に通っています。最高25歳までいられるそうですが、通常18歳で仕事を得ると出ていくそうです。もちろん大学に通うため、施設を出る子もいます。10年前と比べると施設も清潔になって、食事も格段に良くなっています。



2009年夕食



2014年昼食

孤児院には老人ホームが併設されています。初めて訪問したとき、土間にベッドが置かれている様子を見て何となく衰れに感じたものでしたが、ベトナムではそれが普通の生活様式です。日本の昔と同様、親をホームに預けるのは恥だと考えていたようですが、現在ではそうでもないようです。年々規模も大きく、清潔になって以前のように衰れという感じはなくなっています。

日本全国に児童養護施設があり3万人近い児童が入所しています。恥ずかしいことですがあまり意識をしたことがありません。特に最近が高齢化社会になって、また、自分の年齢からも老人施設の方に 관심이高くなりがちです。



◆ 新理事紹介コーナー

浅野充代 理事

担当：交流部

住所：鴨島町

6月末に外国人留学生と小学生と一緒に活動する場に初めて参加しました。児童の反応を見て

いて、彼らの貴重な学習時間がより有意義なものになるようにするには、留学生への支援や準備が大切であると考えさせられました。理事の仕事は責任が重い、と実感しています。



◆ 日本語教室 ほたる見物

井口和代

6月11日。日本語教室が終わった後、皆で美郷までホテルを見に行きました。向かう途中雨が降り出し少し心配しましたが、ちょうど日が暮れ出した7時半頃には雨もやんで、沢山のホテルを見る事が出来ました。

沢山のホテルに、実習生の皆は、「あ、いた！」「きれい」と思い思いに声をあげていました。そんな様子を見て、私もとても嬉しかったです。



ピンさんとズンさん

特に、もう数ヶ月で帰国するピンさんとズンさんには、この日本でのホテルの風景が、心に残るいい思い出となってくれればいいな、と思いました。

阿波踊り「国際交流連」のご案内

- ・日 時：8月15日(火)午後7:00～9:00
- ・集 合：午後5:00 吉野川文化研修センターロビー
- ・日 程：午後5:00～6:00 練習
6:00～6:45 夕食(弁当、飲み物を用意します)
7:00～9:00 踊り
9:15 解散
- ・参加費：日本人1,000円(子ども500円)
外国人500円
- *ハッピー、足袋、はちまき、帯はそろっています。
- *踊りの事前練習：7月30日(日)15:30～16:30
- 場所：吉野川市文化研修センター

ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 長井まで(TEL090-1575-8634)

e-メール；yoshino_kokusai@yahoo.co.jp